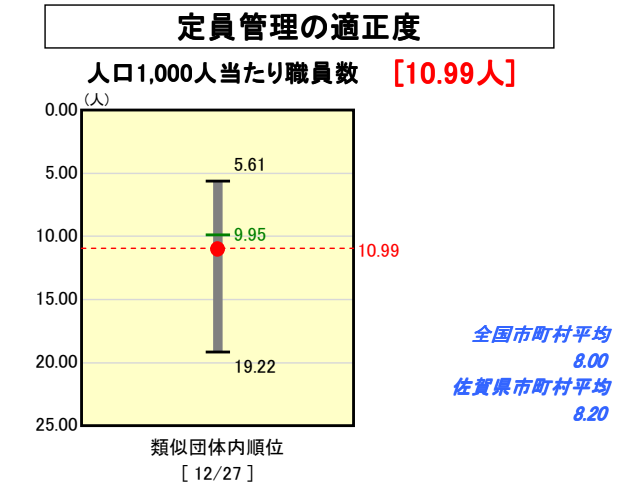
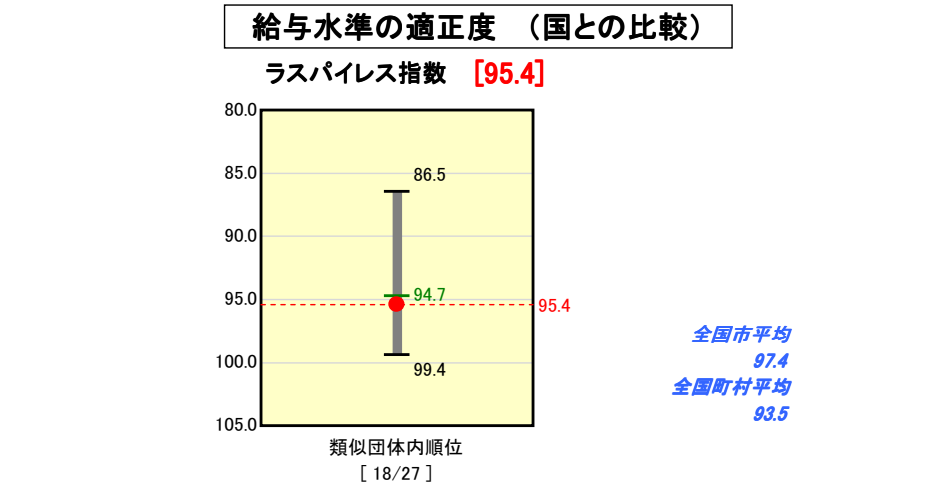
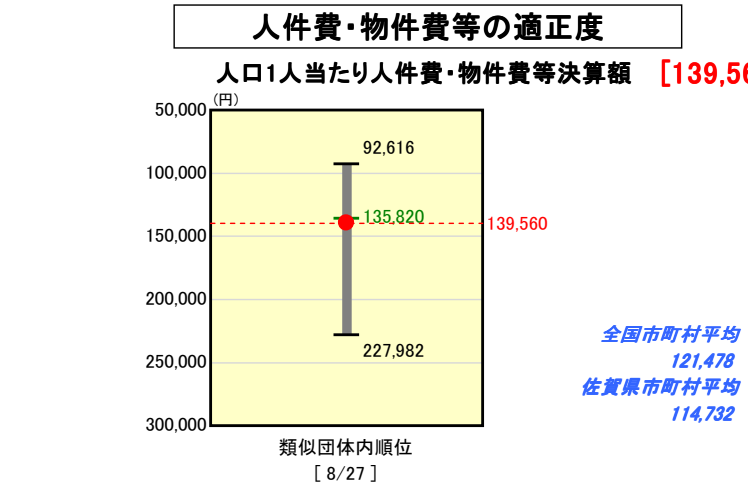
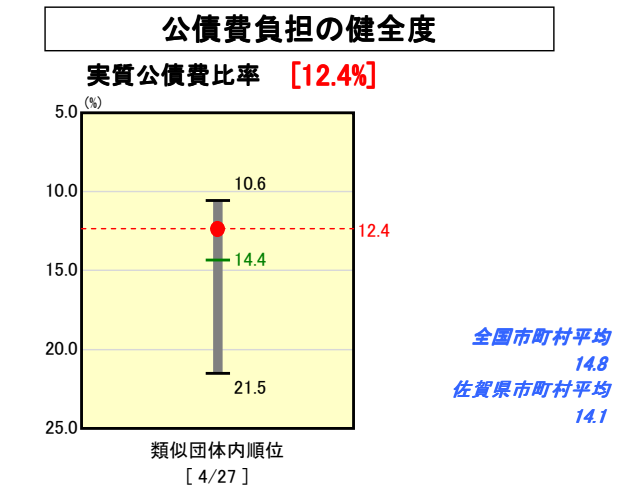
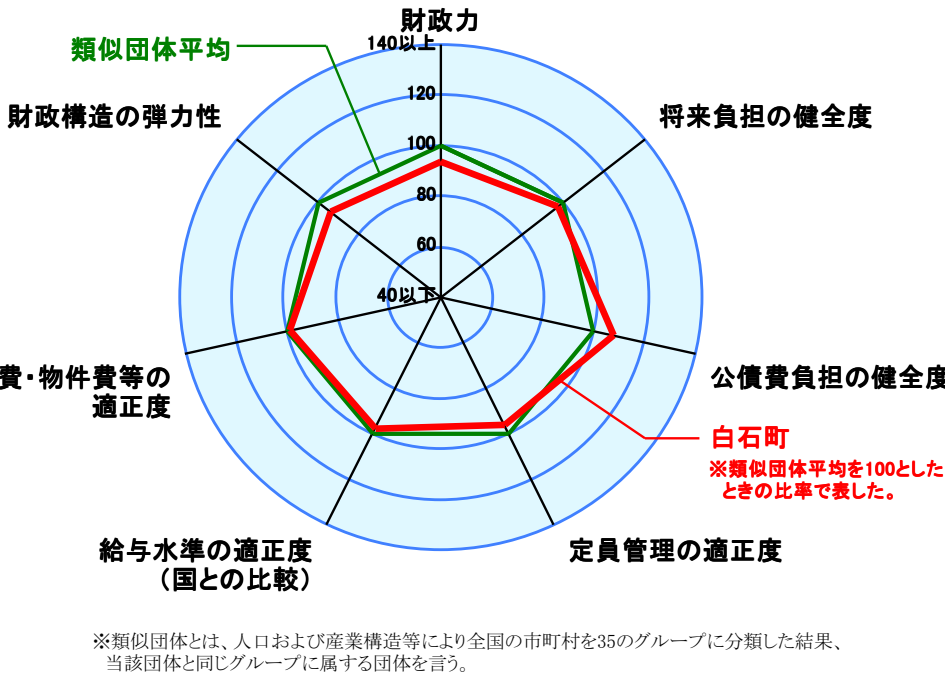
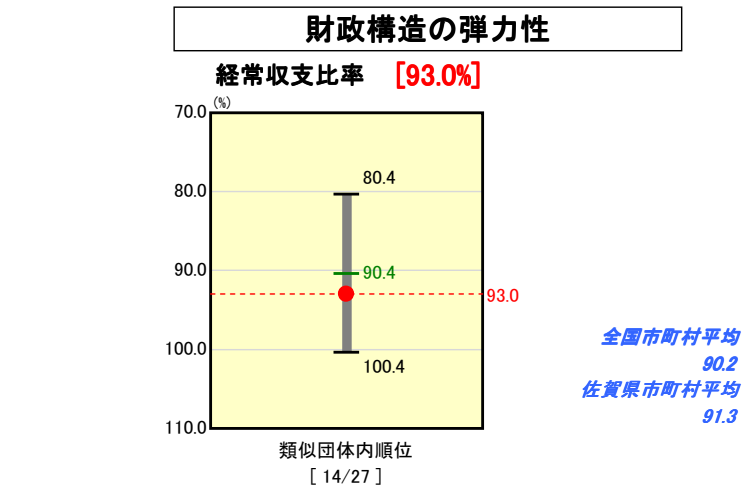
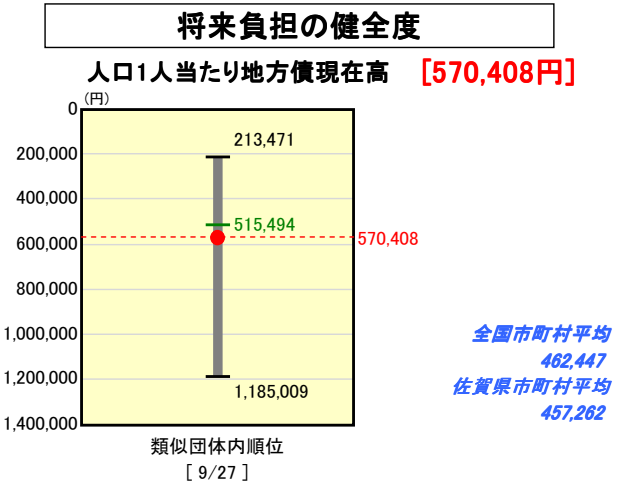
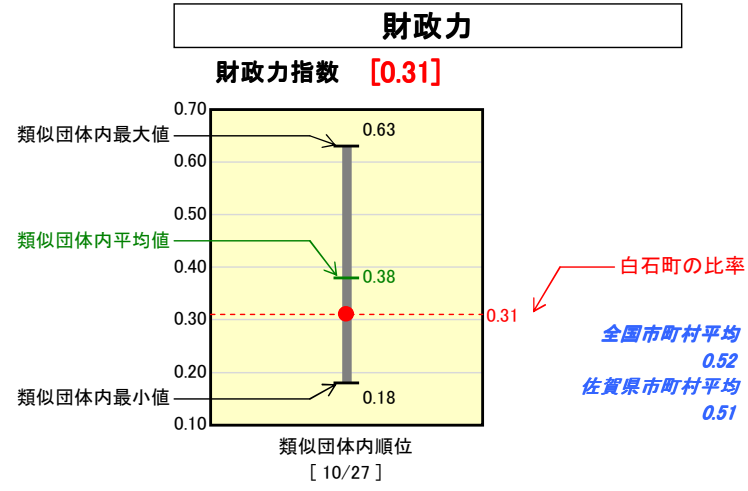


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 佐賀県 白石町

人口	27,567 人(H18.3.31現在)
面積	99.46 km <sup>2</sup>
歳入総額	12,716,716 千円
歳出総額	12,536,814 千円
実質収支	179,902 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

財政力指数は近年上昇傾向ではあるものの、これは基準財政需要額の減少などによる計算上のものであり、実質的には人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(H17年度末26.98%)に加え、基幹産業である第一次産業の長引く低迷などにより財政基盤が弱く、県内市町村平均を大きく下回っており、類似団体平均も若干下回っている。今後も歳入の大幅な増加は見込めない状況下にある中で、歳出の徹底した抑制に努め、財政の健全化を図る。

経常収支比率も扶助費や繰入金等の増加により年々上昇している。H17決算でも前年度から0.3%上昇しており、県内市町村平均、類似団体平均ともを上回っている。H17決算の上昇の主な要因は物件費である。決算額では対前年度△3.7%となったものの、需用費などの伸びによる経常一般財源が増加したためである。今後、各事務事業を見直し経常経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額が県内市町村平均及び類似団体平均を上回っているのは主に人件費が要因となっている。市町村合併による特別職数の減少などにより、決算額では対前年度△6.5%減少しているものの、職員数が県内市町村平均、類似団体平均を上回っていることによるものである。合併直後であるため職員数が膨れあがっているものであるが、今後は定員適正化計画に基づく職員数の削減を行う。

ラスパイレス指数は表には示されていないが、現在県内市町村平均(95.8)を下回っている状況である。今後も人事、給与、厚生制度等を積極的に公開するなど、住民の理解を得ながら、より一層の給与の適正化に努める。

人口1人当たり地方債残高・実質公債費比率は過去の普通建設事業に係る起債の償還等に伴い上昇し、県内市町村平均及び類似団体平均を上回っている。今後も合併特例事業などを含む大規模な起債事業を控えているため上昇傾向にあるが、これらの事業計画を整理・縮小し、起債発行上限枠を設定するなど後年度負担の軽減を図る。

人口1,000人当たり職員数は県内市町村平均及び類似団体平均を上回っている。今後は定員管理適正化計画に基づき、退職者の不補充などを行い、現在の303人から、平成31年度には240名に減員する予定である。